



新発田市立紫雲寺小学校

学校だより

11月15日号

<http://shionjies.shibata.ed.jp>

読書のじかん

校長 土田 志津子

校門をくぐったところの桜や櫟の木々が美しく紅葉し、子ども達の登校を明るく迎えてくれていました。11月の全校朝会では、「もみじ」の歌を全員で歌いました。5, 6年生が低音パートを歌ってくれて、とてもきれいな合唱になりました。桜や櫟に負けないくらい素敵でした。

11月も半ばになり、枝についている葉もわずかになってきました。

今月は、読書月間になっています。そこで、今月の全校朝会の時に、子ども達に阪田寛夫さんの詩を一つ、読み聞かせをしました。声に出して読んでみるとおもしろい詩です。是非、試してください。

読み聞かせですから、声に出して聞かせました。聞かせた後、この「詩の題名はなんだと思う。」と子ども達に尋ねてみました。さっと手を挙げた2年生が、恥ずかしそうに「お坊さん」と答えてくれました。「おいしい!」と言ったら、高学年の方から「御経」という声が聞こえてきました。正解です。「御経」という題の詩です。御経らしく読んでみてください。最後「は〜ん」と伸ばします。この詩の楽しさが実感できますよ。

読書は、基本的に自分に合った本を読めばいいと考えます。6年生だから厚めの本などと考えなくて、自分が読みたい本がいい本です。私は最近、休日に時間をつくって公立の図書館に出かけています。家で読もうとすると雑用が入るからです。新発田市だけでなく新潟市の図書館の貸し出しカードまで作って、ふらっと出かけ1、2時間過ごしてきます。子どもの本でも、大人が読んで面白いものがあるので、借りることがあります。先日でしたが、子どもの本コーナーで、親や祖父母の皆さんが、子ども達と本を探しているのを見て、いいものだなあと思いました。公立の図書館には、様々な本があります。親子で、あるいは祖父母の皆さまがお孫さんとで本を読む時間をつくるには、公立の図書館に行くことをおすすめします。そこで、ソファーに座って、それぞれが思い思いの本を読んでくる・・・素敵な時間ですよ。

?	阪田 寛夫
電車馬車自動車 人力車力自転車 交通地獄通勤者 受験地獄中高生 合唱練習土曜日 空腹帰宅晩御飯	

学校でも、読書好きな子になってもらいたくて、様々なことをしています。先週は、本の読み聞かせがありました。他の学年の先生から読んでもらう時間でした。教頭先生からは、「子ども新聞」の読み聞かせもあり、楽しいひとときを過ごしたと思います。今週は、お昼の放送で、先生方の思い出の本の紹介をしています。以下に紹介するのは、「先生方のおすすめの本」です。是非、「読書のじかん」をつくって親子で楽しんでください。

- ◇「手袋を買いに」(新美南吉作) ◇「ともだちや」(内田麟太郎・降矢なな作) ・「赤毛のアン」シリーズ
- ◇「はれときどきぶた」(矢玉四郎作) ◇「となりのせきのますだくん」(武田美穂作) ・「小公女」
- ◇「齋藤孝のガツンと一発『カッコよく生きてみないか!』」(齋藤孝作) ・「シャーロックホームズの冒険」
- ◇「葉っぱのフレディ」(レオ・バスカーリア作) ・「あしながおじさん」 ・「ビルマの豎琴」

『芸術の秋』を満喫した一日

図工主任 坂井 恵子

10月21日（日）に紫雲寺小の文化祭が行われました。大勢の保護者の方や地域の方々にお越しいただき、子どもたちの絵画と当日発表の音楽集会をご覧くださいました。いかがでしたでしょうか。

文化祭集会パート1では、自他の作品のよさを認め合う活動として、作品鑑賞会を行いました。各展示会場をファミリー毎に回り、自分の作品の見どころを紹介したり、友達の作品のよいところを「いいところ探しカード」に書いたりしました。

このファミリー鑑賞が始まって5年目。子どもたちが書いた「いいところ探しカード」の記述を見ると、その絵のよさや描いた人の頑張りを見付けることができるようになってきていると感じます。保護者の皆様にも、一枚の絵に込めた子どもたちの溢れる思いと豊かな感性を感じ取っていただけたことと思います。

図画工作の学習では、子どもたちに表現の喜びを味わわせ、創造する力を育てることを目指しています。作品の出来映だけでなく、作品を作り上げる過程での「学び」を大切にしています。

～ ファミリー鑑賞会 児童の「いいところ探しカード」の記述から ～

- 明るい色を使ってすごい。建物も、大きくて分かりやすいよ。頑張って描いたね。
- すみずみまでいいいに色をぬって、すごいと思いました。
- 「野球が好き」という気持ちが伝わる絵でいいと思います。そして、とても楽しそうでいいと思いました。
- とても大きい木が絵の中心にあると迫力もあって、絵がとても大きく見えました。
- 山が上にいくにつれて色がうすくなって、本物みたいでした。他の色づきもきれいでした。
- 版画なのに、一人ひとりの表情がよく分かりました。色もカラフルでよかったです。

文化祭集会パート2は、音楽集会。3・4年生による合唱発表や5・6年生による干拓太鼓演奏がありました。3・4年生の歌声は元気で明るく、低音部と高音部のハーモニーがすてきでした。また、干拓太鼓の演奏は、太鼓や笛の音が体育館中に響き渡り、迫力がありました。5・6年生の堂々とした姿もりっぱでした。



紫雲寺小の文化祭は、子どもたちにとって、まさに「芸術の秋」をたっぷり満喫した一日でした。



ディズニー 大好き！！

上山 里子

私は大のディズニーファンである。年甲斐もなく公言するのはちょっと恥ずかしい気もするが、好きなものは好きだからしょうがない。

あれは忘れもしない・・・私が若かりしギャル（今や死語・・・）の頃、大学2年の時に東京ディズニーランドが開園した。そこからハマってしまった。結婚してからも二人の子の出産の年を除いては毎年恒例ディズニーツアー（ランド・シーはセット）を挙行している。まぎれもないディズニーリピーターである。

なぜ、そこまでハマってしまったのだろう・・・。

この前、ある雑誌を見ていたら、「ディズニーの魅力」というコーナーがあった。中でも目をひいたのが、「自殺志願者を多数救ったテーマパーク・ディズニー！」という見出しだった。夢も希望も失い死の道を選ぼうとしている人が最後の思い出作りにけっこう訪れるのだとか・・・。夢の世界にどっぷりと浸かり、生きる活力をもらい、死への道を踏み留まるといふ。とにかく全てを忘れ、非日常的な空間の中に身を置くことができる・・・まさに「夢と魔法の国」である。（だから、パーク内には鏡があまり無いのだとか・・・。鏡を見て現実に戻ることほど恐ろしいことはない・・・。）

そして、あの徹底された環境整備、従業員教育がすばらしい。ゴミ一つ落ちていないテーマパーク内。明るくあいさつとあふれんばかりの笑顔。元気が出てくる。今ではディズニー従業員教育に関する人材教育本が出ているほど注目されている。9割がバイトでも、あそこまで徹底できる教育とはどんなものなのだろう。中でもカストーディアルという1日中園内を掃除して回る職種担当が今や一番人気らしい。夢の国での仕事といえば華やかな職種に憧れるもの・・・そう考えがちだが、そう思わせないことがディズニーの教育理念なのだろう・・・。「夢と魔法の国」を支えるものは「行き届いた掃除」と規定し、従業員には「文句を言うな！」「つべこべ言わずに働くこと！」などと言う対応は絶対にせず、ゲストを喜ばせる最強の仕事であることを説き続けているという。

何回でも訪れたいディズニー。裏方のことを考えながら行ってみるのも楽しいかもしれない。友達と行きたがる我が子を手名付け、来年もディズニーを楽しみたいと思っている。が、しかし・・・、老夫婦二人で、いや、夫が拒否すれば一人で行かなければならない日も近い・・・。でも大丈夫！パーク内のトイレにしか無い鏡さえ見なければ、一人でも夢の世界に浸れる自信はある。・・・とはいうものの一人じゃやっぱり寂しいかも・・・。誰か一緒に行きませんか？

エッセー・コーナー

このページは、毎月、学校教職員のエッセーを掲載します。紫雲寺小学校に勤めているわたし達の素顔の一部を知っていただき、学校と保護者、地域の皆さまとの距離を近づけたいと考えました。「同感!」、「新発見!」など気軽に声をかけていた舵機、話しが弾むことを期待しています。



音楽交歓会

3. 4年生 がんばりました！！

11月8日に新発田市民文化会館で音楽交歓会が行われました。

3, 4年生 59名が参加してきました。「いろはにつねこさん」と「ありがとう」の2曲を合唱で歌いました。「歌っていて涙が出たよ。」と教えてくれた子もいて、一心に歌った子ども達の姿は、美しかったです。



生活目標について

<10月の生活目標>

「きまりを守ろう」

ろうかは『は・さ・み』

「は・さ・み」を守って安全に過ごそうという意識を持つ子が増えました。

走っている友だちを見かけたら声をかけている姿も見られました。

これからも屋内で遊ぶことが多い季節です。お互いに注意しあってみんなが気持ちよく過ごせるように心がけていきます。



<11月の生活目標>

「もっと H♡T に 心をつなごう」

あかるくなかよく 楽しい あなたの紫雲寺小学校

※今年も、紫雲寺小学校の全員の笑顔がずっと続くように、みんなで考えて行動します。

①各クラスで大事にしたいことをめあてにして取り組んでいます。

②「心の花束」を作ります。

・自分の「いいところ・頑張っているところ」を書きます。友だちの「いいところ・頑張っているところ」も見つけ、お花のカードに書いて送ります。そのお花が集まり、いいところがたくさんつまった「心の花束」にします。今回も、この花束におうちの方からお子さんへの温かいメッセージを送っていただきます。

笑顔が溢れる花束になりますね。



こんなすてきな「あなたの紫雲寺小学校」にぴったりな行動を見つけました。

♥重い荷物を持って階段を登っていたら、「手伝うよ。」と荷物をもってくれた人がいました。とても助かりました。周囲への気配りができるすてきな人ですね。

♥給食の牛乳パックをリサイクルしています。ボランティア委員会の子もたちが各クラスを回って集めています。その時に、牛乳パックをきれいに重ねておいてくれる人がいて、とても回収しやすかったそうです。回収する人たちのことを考えてくれてありがとうございますね。

♥まなび学級さんの子どもたちを理解し、温かい心で接してくれている人がいました。周囲の人を大切に、思いやりをもって行動できる人ですね。